



## 藤森精太郎

介護職

東京都調布市

卒業後46年になります。小説書いたり詩書いたり、芝居やったり、迷いに迷って会社員になったりと……。

10年前にきっぱりと会社をやめ、ハローワークで目に留まったヘルパーという仕事。介護元年の年に思い切って転職。10年があったという間にたってしまう。

ある94歳女性、入浴サービスを受けに施設へゆく送迎の仕事。ある日買い物途中人に圧されて転倒。足腰強打し動かなくなってしまう寝たきりに。「こんな体になって死にたい死にたい」とベッドでいつも言ってる。送迎のときAPの二階に住んでるのでお嬢さん抱っこで外階段を降りる際、怖いと手すりをつかんで、「死んじゃうよ死んじゃうよ。」え？ さっきまで死にたいって言ってたのに。

まったくもう

いつも利用者さまに鍛えられながら、言いなりになるでもなく、言ってる言葉でなく本当の気持ちを感じ取りながら調布市内を自転車で駆け回ってます。たくさんの出会いを楽しみつつ。